

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Ra land			
○保護者評価実施期間	令和8年1月25日		～	令和8年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名(兄妹1家族)	(回答者数)	6名
○従業者評価実施期間	令和8年1月25日		～	令和8年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容が固定化しないように活動プログラムを作成。また、季節の行事では盛大に開催している。	毎月の活動は保護者にも周知している。5領域に基づいて作成しており、同じ活動であっても展開を変えたり、子ども達の状況に応じて設定をしている。また、季節の行事では異年齢療育で開催し、子どもとスタッフが一緒に楽しめる内容になっている。	活動がマンネリ化しない為に、スタッフ間で活動の振り返りや子ども達の活動の様子を把握していき、日々活動の充実を目指す。また、活動における研修等も開催していく予定。
2	スタッフ間で連携が取れやすい環境であり、子ども一人ひとりと向き合い支援を行っている。	小規模事業所である為、スタッフ間での連携が取りやすい。毎日の朝礼以外でも送迎や活動後に、すぐに振り返りを行える環境である為、子ども一人ひとりの情報を共有し合っている。	シフトで休みだったスタッフにも、子ども達の日々の様子は共有を行っている。口頭でのやり取りが多い為、漏れがないように記録等に残して対応する等検討していく。
3	日頃から保護者の方との連携ができる体制を整えており、スタッフと話しやすい、相談しやすい環境作り。	利用時の様子は、写真と文で保護者の方に伝えており、日々取り組んだ内容が分かり易く、成長の記録を残している。また、いつでも連絡が取れるように電話以外のメールでの相談も受け付けることで、保護者の方も気軽に事業所に連絡ができていく。	今後も分かり易く子ども達の日々の様子は保護者の方に伝えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催がない為、保護者同士の交流が少ない。	開所して3年が経過するが、開催の要望等もないこともあり、まだ保護者の方同士での交流の場を提供していない。日程調整や開催場等を検討する必要がある。	保護者同士での交流の場があったら、また今後のサポートに繋がると思われるが実施ができていない状況である。日程調整や開催に関しては場所の確保等も課題もある為、今後も検討をしていきたい。
2	緊急時のマニュアル等作成し、避難訓練等を実施しているが、保護者の方へ伝わっていない。	各マニュアル作成をしており、契約時に説明。活動の中では避難訓練も年に数回取り組んでいるが周知されていない。	契約以外の年度スタート等で情報開示を行っていく。また避難訓練の様子も、連絡帳等で実施状況等をお伝えしていく。
3	地域との交流が少ない。	今年度は地域との交流の提供がなかった。近隣には、児童発達支援事業所等もある為、交流を図ったり行事等を招待できればと思う。	近隣の事業所や地域の方々と交流できる働きかけを行っていく。